



平成23年1月20日(木)  
 愛知県県民生活部文化芸術課  
 国際芸術祭推進室調整G  
 担当：岡田・陣内  
 電話：052-971-6114 内線 724-502・501

## あいちトリエンナーレ2010の経済波及効果等について

あいちトリエンナーレ2010の経済波及効果を算出しましたので、お知らせします。  
 また、長者町関係者及び祝祭ウィーク公演団体からいただいたアンケート結果を取りまとめましたので、あわせてお知らせします。  
 今後は、成果・課題を整理した開催報告書を年度内に発表する予定です。

### 1 経済波及効果

#### (1) 金額

あいちトリエンナーレ2010の開催により、愛知県内において約**78億円**の経済波及効果があったと考えられる。

経済波及効果	主催者等総支出	第1次波及効果	第2次波及効果
<b>78.1億円</b>	18.1億円	50.7億円	9.3億円

主催者等総支出：あいちトリエンナーレ実行委員会の平成20年度から平成22年度までの支出及び緊急雇用創出事業基金事業によるあいちトリエンナーレ2010関連事業の支出との合計。

第1次波及効果：主催者等総支出及び来場者支出（例えば飲食、宿泊、お土産等）による需要発生が、県内のその他産業にもたらす生産誘発額

第2次波及効果：先の需要の発生により雇用者の所得が生まれるが、その雇用者が消費したことによる生産誘発額

#### (2) 主な前提条件等

ア 来場者支出は、会期中に実施した来場者アンケート等を元に、以下のとおり推計。  
 実来場者数・総来場者数（57.2万人）を、平均来訪回数（2.78回）によって除し、約21万人と想定。

消費金額等・下表のとおり。

項目	金額	1人当たり平均
飲食	3.5億円	1,721円
買い物	7.8億円	3,767円
交通費	11.4億円	5,560円
宿泊費	3.1億円	6,721円
計	25.8億円	

宿泊費については、アンケート結果から来場者の約22%が宿泊者と推計した。

イ 波及効果は、平成17年愛知県産業連関表を用いて算出。

(3) 算出元

株式会社日建設計総合研究所 名古屋オフィス

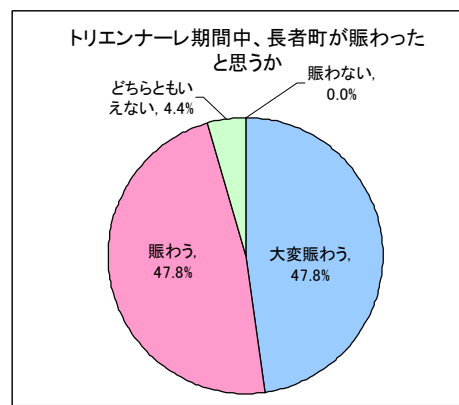
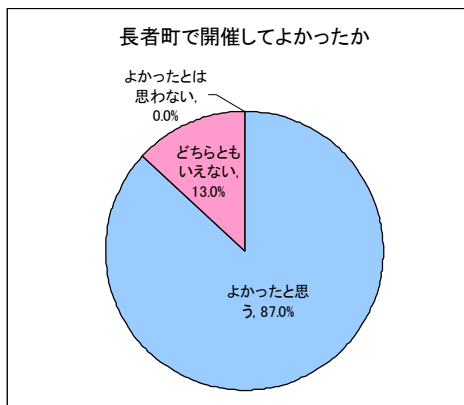
【あいちトリエンナーレ 2010】

- ・ 平成22年8月21日～10月31日（72日間） 総入場者数 572,023人
- ・ 愛知芸術文化センター、名古屋市美術館、長者町会場、納屋橋会場などで開催
- ・ 国際美術展、パフォーマンス・アーツなどに131組のアーティストが参加

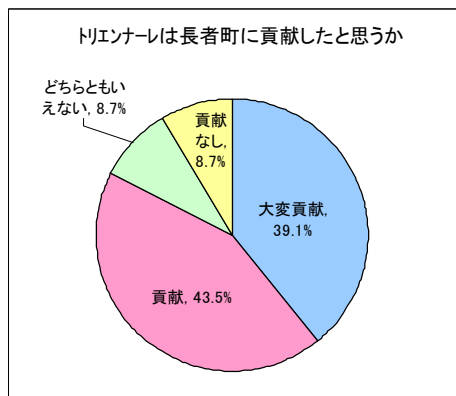
2 関係者アンケート結果

(1) 長者町関係者（対象：会場提供者等長者町関係者49名。回収数23・回収率46.9%・郵送による回収）

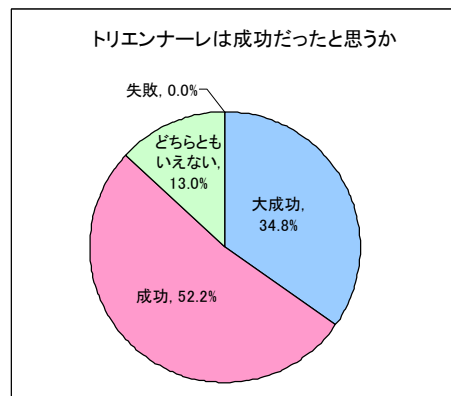
ア 長者町で開催してよかったか イ 期間中賑わったか



ウ 長者町に貢献したか



エ 成功だったと思うか

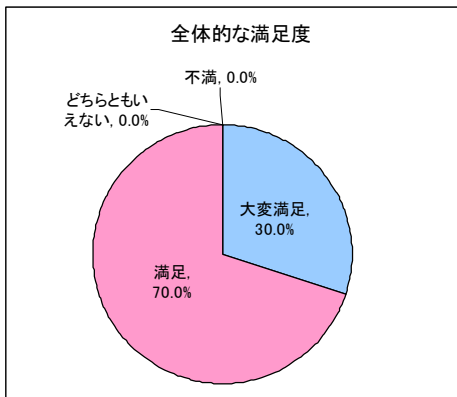


コメント抜粋

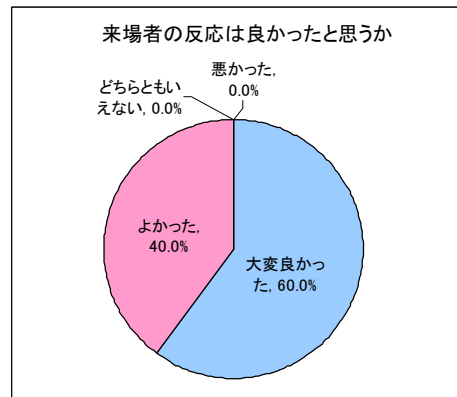
- ・ まちが元気になった。
- ・ 長者町という場と芸術作品による相乗効果が生まれたことがよかった。
- ・ 人の往来が増え、特に若い人がたくさん町に来た。
- ・ 今後の街づくりの方向性がわかった。
- ・ 長者町の知名度向上、来訪者増加等の効果があった。
- ・ 長者町とサポーター、ボランティア、道案内人等との更なる連携が必要。
- ・ 展示場所や入場料などがわかりにくかった。 等

(2) 祝祭ウィーク公演団体 (対象：祝祭ウィーク参加16団体。回収数10・回収率62.5%・FAX及び郵送による回収)

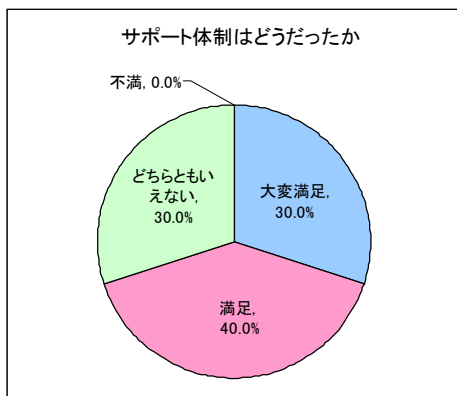
ア 全体的な満足度



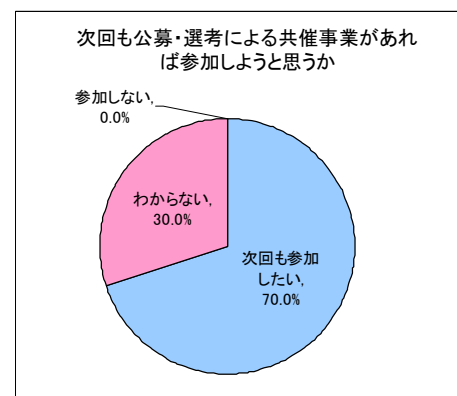
イ 来場者の反応



ウ 実行委員会のサポート体制



エ 次回も参加したいか



コメント抜粋

- ・美術に関心のある人々が、演劇に興味を持つ良いきっかけになった。
- ・会場、施設全て提供していただき、作品に思いを費やせた。
- ・1週間で3ホールでの公演開催は、観客にとっては少しきつかった。
- ・十分な舞台リハーサルなどの時間がとれず、スケジュールに苦心した。等